

令和	3	年度	着手	
令和	3	年度	第1回計画変更	(特に軽微)
令和	4	年度	第2回計画変更	(特に軽微)
令和	4	年度	第3回計画変更	(特に軽微)
令和	5	年度	第4回計画変更	(特に軽微)
令和	7	年度	第5回計画変更	

## 道営土地改良事業計画書

( 区画整理 )

まっかり  
真狩 地区

北海道 後志総合振興局



第5章	主要工事計画	40～53
第1節	用水施設	40～41
1.	貯水池	40
2.	頭首工	40
3.	揚水機	40
4.	用水路	41
5.	その他かんがい施設	41
第2節	排水施設	42
1.	排水水門	42
2.	排水機	42
3.	排水路	42
4.	その他排水施設	42
第3節	道路及び索道	43
1.	道路	43
2.	索道	43
第4節	農用地造成	44～45
1.	農用地造成	44～45
2.	土壌改良	45
第5節	洪水調節施設	46
1.	貯水池	46
2.	頭首工及び導水路	46
第6節	干拓施設	47
1.	堤防	47
2.	潮止め	47
3.	附帯施設	47
4.	埋立	47
第7節	農用地整備施設	48～52
1.	区画整理	48
2.	暗渠排水	49
3.	客土	50
4.	除礫	50
5.	農地保全	51
6.	土壌改良	52
第8節	老朽ため池改修施設	53
1.	貯水池	53
2.	堤体補強施設	53

第6章	附帯工事計画	54
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	54
第8章	環境との調和への配慮	54
第9章	換地計画の概要	55～57
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	55
第2節	換地区の設定	55
1.	換地区の名称、所在、面積	55
2.	換地区を設定する理由	55
第3節	換地計画樹立の基本方針	55～56
1.	従前の土地の地積の基準	55～56
2.	用途別予定地積	55～56
3.	農用地集団化の方針	55～56
4.	非農用地の換地方法	55～56
第4節	土地の評価及び清算の方法	57
1.	評価の方法	57
2.	清算の方法	57
第5節	換地計画樹立の年度計画	57
第6節	換地処分 of 時期に関する特則	57
第10章	事業費の総額及び内訳	58
第11章	効用	59
第12章	関連する事業	60
第13章	現況・計画図面	60～62

## 第1章 目的

本地域は、畑作4品目を主体にした土地利用型農業に、高収益作物の生産を取り入れた特色ある営農・生産を展開してきた畑作地帯である。これまでも国営・道営事業による農地基盤整備を進めてきたが、未整備農地が点在しているほか、急傾斜や褶曲の地形であることや排水不良などから、効率的な機械作業に支障を来し、収益性の低下を招いている。

このため、本地区では区画整理(整地工、暗渠排水、心土破碎)を実施することにより、機械作業の効率化と機械の大型化に対応しうるほ場の整備を進め、生産性の向上・コスト削減・農作物の品質向上を目指し、高収益作物の導入・定着による農業収益の一層の増加を図ることを目的とする。

## 第2章 地域及び地積

### 第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
区画整理	北海道虻田郡真狩村

### 第2節 地積

(R7年11月現在)

(R5年8月現在)

(第2表)

事業名	現況地目		田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	市町村名								
区画整理	真狩村			175.4 226.4	1.5 1.6	6.6 8.8		183.5 236.8	四捨五入の関係で計が合わない
合計				175.4 226.4	1.5 1.6	6.6 8.8		183.5 236.8	

### 第3章 現況

#### 第1節 気象及び海象

##### 1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	真狩		かんがい期		非かんがい期		計 又は平均		備考
観測期間	S25年～	H20年	5月～9月		10月～4月				
平均気温	(°C)		14.7		-1.1		5.4		
降水量	平均		540.1		784.9		1325.0		
	基準年								
降水日数	平均		56.9		137.1		194.0		
	基準年								
根雪期間			11月20日～4月18日						
無霜期間			5月19日～10月6日						
最多風向			S	最大風速 (風向)	17 m/s (S)	最多風向発生時期 最大風速発生年月日		1, 2, 3, 4, 11, 12月 H16.9.8	

##### 2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 真狩	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
観測期間 S25年～H20年																
最大日雨量(mm)	147	S56.8.23	1/145	103	H10.9.16	1/14	92	S60.9.1	1/8	88	H13.9.11	1/7	88	H11.8.2	1/7	
最大時間雨量(mm)	32	S61.9.4	1/31	30	H11.7.29	1/20	27	H7.8.20	1/10	25	H6.9.6	1/7	25	S58.8.11	1/7	
最大4時間雨量(mm)	77	S60.9.1	1/44	70	S61.9.4	1/26	67	H11.7.29	1/21	62	S56.8.23	1/15	46	H12.7.3	1/4	
最大連続雨量(mm)	341	H11.7.28	1/124	240	H9.8.2	1/28	195	S56.8.3	1/13	164	H13.9.7	1/7	148	H7.8.7	1/5	
		∩			∩			∩			∩			∩		
最大連続干天日数(日)	42	H19.6.16	1/46	34	S59.5.4	1/11	33	H9.4.1	1/9	33	H6.7.11	1/9	32	H3.6.15	1/7	5mm 未満
		∩			∩			∩			∩			∩		
		H19.7.27			S59.6.6			H9.5.3			H6.8.12			H3.7.16		

##### 3. 海象 該当なし

(第3表-3)

観測所名	観測期間	既往最高潮位	さく望平均満潮位	上下弦平均満潮位	平均潮位	上下弦平均干潮位	さく望平均干潮位	既往最低潮位	備考
実測値	年～年	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目 傾斜	田						畑・その他								受益地標高(m)		備考	
		1/1000	1/1000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°	3°	8° ~ 15°			15°	20°	計	最高	最低		
		以下	1/100	1/20	1/11.5	以上		以下	8°	10°	10°	15°	8°	15°					20°
区画整理	面積(ha)							51.1	132.4							183.5	290	160	
	比率(%)							27.8	72.2							100.0			
	面積(ha)																		
	比率(%)																		
	面積(ha)																		
	比率(%)																		
	面積(ha)																		
	比率(%)																		
	面積(ha)																		
	比率(%)																		
合計	面積(ha)							51.1	132.4							183.5			
	比率(%)							27.8	72.2							100.0			

(第4表-1-2)

項目 土壤統(区)名	土壤統(区)区分一覧表								面積 (ha)								備考	
	土壤断面								事業名									
	色	腐植層	礫層	酸化沈殿物	土性			泥炭層 黒泥層 及び グレイ層	堆積様式	母材	区画整理							計
					表土	下層土												
一層					二層	三層												
灰色低地土		含む	なし	なし	L	SL	SL	なし	水積	非固結水成岩	12.0						12.0	
黒ボク土	10YR3/3	含む	含む	なし	L	SL	S	なし	崩積/洪積	固結火成岩/ 非固結火成岩	43.0						43.0	
黒ボク土	10YR4/4	あり	なし	なし	L	L	L	なし	洪積	非固結火成岩	71.9						71.9	
黒ボク土	10YR3/3	あり	あり	なし	L	L	L	なし	洪積	非固結火成岩	56.6						56.6	
計											183.5						183.5	

該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土壤の流亡率				年平均流亡速度				ガリ侵食の程度		備考
		0	0~25%	25~50%	50%以上	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
		面積 (ha)										
	比率 (%)											

## 2. 土地分類 該当なし

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	農用地造成										計 (ha)	備考	
	一級地 (ha)	二級地				三級地				四級地			
		(ha)	3° ~ 8° (ha)	8° ~ 12° (ha)	12° ~ 15° (ha)	(ha)	15° ~ 20° (ha)	20° ~ 25° (ha)	25° ~ 30° (ha)	(ha)			30° 以上 (ha)
計													

(第4表-2-2)

市町村名	干 拓					備 考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
計						

## 3. 土地利用の状況

(R7年11月現在)

(R5年8月現在)

(第4表-3)

事業名	市町村名	耕 地						山 林		採草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑 園 (ha)	茶 園 (ha)	その 他の 樹園 地 (ha)	用材林 (ha)					
区画整理	真狩村		175.4					6.6			1.5	183.5	四捨五入の関係で計が合わない	
			226.4					8.8			1.6	236.8		
合計			175.4					6.6			1.5	183.5	四捨五入の関係で計が合わない	
			226.4					8.8			1.6	236.8		

4 土地所有の状況

(R7年11月現在)

(R5年8月現在)

(第4表-4)

事業名	所有別		個人有	個人有	個人有	計	備考
	区分						
区画整理	面積 (ha)		72.7	42.5	68.3	183.5	
	受益者数 (人)		20	12	18	28	
	筆数 (筆)		113	37	133	283	
	権利関係		所有権	賃借権	使用賃借権		
	備考 (関係戸数)		20	12	18	29	
	面積 (ha)						
	受益者数 (人)						
	筆数 (筆)						
	権利関係						
	備考 (関係戸数)						
	面積 (ha)						
	受益者数 (人)						
	筆数 (筆)						
	権利関係						
	備考 (関係戸数)						
	面積 (ha)						
	受益者数 (人)						
	筆数 (筆)						
	権利関係						
	備考 (関係戸数)						
合計	面積 (ha)		72.7	42.5	68.3	183.5	
	受益者数 (人)		20	12	18	28	
	筆数 (筆)		113	37	130	283	
	権利関係		所有権	賃借権	使用賃借権		
	備考 (関係戸数)		20	12	18	29	

第3節 水利状況 該当なし

1. 用水状況

(1) 用水系統

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量 m <sup>3</sup> /S	備考
		500ha以上		500～100ha		100ha未満		箇所	ha	箇所	m <sup>3</sup> /S	箇所	m <sup>3</sup> /S		
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計														
	合計														

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-1-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
	合計							

- (3) 用水に関する被害状況  
 (ア) 用水不足による被害状況

(第5表-2-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m3)	不足水量				平均 減産量		備 考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量 (t)	
				平均 (m3/S)	基準年 (m3/S)	平均 (千m3)	基準年 (千m3)			
	計									
合	計									

- (イ) その他の被害状況

(第5表-2-2)

事業名	時期別	かんがい 面積 (ha)	水温 (°C)		水質	被害量 (t)	備 考
			最高	最低			

- (4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)						備 考
	水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用 施設	公共 施設	家屋 その他	計	
合計											

2. 排水状況

(1) 排水系統

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4-1)

事業名	項目		排水面積						計	排水慣行 (m3/S)	現況排水能力 (m3/S)	備考
			200ha以上		200~100ha		100ha未満					
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha				
	自然	排水路										
		水門										
	機械	排水機										
		水門及び排水機										
		排水路及び排水機										
		計										
		合計										

(イ) 改修を必要とする施設一覧表

(第5表-4-2)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は 更新年月日	改修を必要 とする理由	備考
	施設名								
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
		計							
		合計							

(3) 排水に関する被害状況

(第5表-5)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m3)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平														
			均														
			基														
			準														
			年														
			平														
			均														
			基														
			準														
			年														
計			平														
			均														
			基														
			準														
			年														

3. 河川状況

(1) 河川の現況

(第5表-6)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m3/S)	既往最大洪水量 (m3/S)	備考

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-7)

項目 区分	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路概況 該当なし

1. 道路概況

2. 主要道路一覧表

(第6表)

No.	路線名	管理区分別	延長(m)	幅員(m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			
1								
2								
3								
4								
5								

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

市町村名	総数 (人)	第1次産業				第2次産業			第3次産業							備考
		農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス熱 供給水道業 (人)	運輸通信 業 (人)	卸売小売業 飲食店 (人)	金融保険業 (人)	不動産業 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	
真狩村	1,144	483	5	—	—	45	16	4	40	163	9	3	269	86	21	平成27年度国勢調査
計	1,144	483	5	0	0	45	16	4	40	163	9	3	269	86	21	
比率(%)	100.0	42.2	0.4	0.0	0.0	3.9	1.4	0.4	3.5	14.2	0.8	0.3	23.5	7.5	1.8	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(第7表-2)

市町村名	農家総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)					耕地の 分散状況		専業別農家数 (戸)		備考		
		例外規定の 適用を受ける もの	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上	自給的農 家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	1戸 当団 地数	団地当 面積 (ha)	専 業		兼 業	
			第1種	第2種																				
真狩村	141	3	1	2	1	6	8	6	15	42	57		0.1	18.9		19.0	-	19.0			106	27	8	2015年 世界農林業センサ ス
計	141	3	1	2	1	6	8	6	15	42	57	0	0.1	18.9	0	19.0	-	19.0	0	0	106	27	8	
比率(%)	100.0	2.1	0.7	1.4	0.7	4.3	5.7	4.3	10.6	29.8	40.4	0.0	0.5	99.5	0	100.0	-	100			75.2	19.1	5.7	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(R2年12月現在)

(第7表-3)

市町村名	動力農機具								主要家畜								備考
	田植機		トラクター		コンバイン		数量		乳用牛		肉用牛		数量		数量		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	頭数 (頭)	戸数 (戸)	頭数 (頭)	戸数 (戸)	頭数 (頭)	戸数 (戸)	頭数 (頭)	戸数 (戸)	
真狩村	7	6	558	132	31	23			882	12	X	7					
計	7	6	558	132	31	23			882	12	X	7					
100戸当たり数量 (台、頭)	117		423		135				7,350		-		-				
利用戸数割合 (%)	4.3		93.6		16.3				8.5								

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名		真狩村								作付率 (%)	備 考	
総耕地面積 (ha)		3,010										
総本地面積 (ha)		3,003										
作物名	区分	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付率 (%)	備 考	
	田	表作	8	500								
	裏作											
	小計	8	500							0.3		
畑	馬鈴薯	476	2,670							15.9		
	小麦	164	560							5.5		
	甜菜	204	6,970							6.8		
	小豆	284	228							9.5		
	にんじん	231	4,080							7.7		
	やまのいも	20	1,287							0.7		
	青刈りとうもろこし	80	5,400							2.7		
	牧草	293	3,400							9.8		
											0.0	
											0.0	
										0.0		
	その他	1,243								41.4		
	小計	2,995								99.7		
樹園地												
	小計											
計		3,003										
市町村別 延べ作付率 (%)		99.8										

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			大家畜			動力農機具			その他	地域 指定等	備考
		B	A 現在		B	A 現在	作物名	B	A 現在	家畜名	B	A 現在	農機具名	B	A 現在			
変化の状況 (C年を100とする指数)	総農家数	91	82	耕地	99	99	馬鈴薯	115	109	乳用牛	104	90	田植機	163	88	農振 過疎 特豪	資料：世界 農林業セン サス A：平成27年 B：平成22年 C：平成17年	
		92	94	田	71	57	豆類	100	106	肉用牛	143	X	トラクター	92	93			
	第1種 兼業農家数	83	50	畑	100	99	麦類	109	114				コンバイン	118	141			
	第2種 兼業農家数	140	160															
	農業 従事者数	83	74															
変化の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化、担い手不足による農家戸数の減</li> <li>・担い手や中核農家の規模拡大に伴う専業農家の増</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手及び中核農家の規模拡大による、耕地面積の維持・労働力不足や設備投資見合いの、転作から本作（畑地化）への進展</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・規模拡大による、土地利用型作物の増</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・所得確保のための経営転換</li> <li>・濃厚飼料の高騰に伴う飼養頭数の減</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家戸数の減少に伴う、動力農機具の減</li> </ul>					

## 第6節 地域環境の概況

### 1. 地域の概況

真狩村は、北海道後志総合振興局管内の南東部に位置し、北の羊蹄山は山頂で倶知安町、京極町、喜茂別町に分かれるほか、南は洞爺湖町、東は留寿都村、西はニセコ町、豊浦町の6町1村に接している。また、羊蹄山の南山麓に広がる地域で、気象は道内でも有数の豪雪地帯であるが、春から夏にかけては総じて温暖であり、四季を通じて寒暖の差が著しい内陸的気候を呈している。地形は、概ね波状形をなし、約200～300mの台地を形成して南へ延びており、この中を豊かな山林地帯に源を発する真狩川、知来別川などが流れる高原の畑作地帯となっている。

### 2. 自然環境

#### (1) 気象

真狩村の気象は、年間降雪量が7mと道内でも有数の豪雪地帯であり、冬期間の最低気温は $-20^{\circ}\text{C}$ にまで達する一方、春から夏にかけては総じて温暖であり、四季を通じて寒暖の差が著しい内陸的気候を呈している。年間降水量は、1,200mm程度で、風は弱く、道内でも比較的恵まれた気象条件にあり、昼夜の温度差を利用した高品質の多品目野菜が栽培されている。

#### (2) 植生

植生は、市街地に村樹であるカツラが街路樹として植樹されており、村内北部の杜地区にある真狩樹木園のカツラ並木は北海道百年記念の北海道の名木美林に選定されている。天然林としては温帯北部と亜寒帯の推移帯に属しているので、特に広葉樹の種類が多く、エゾマツ、トドマツ、ミズ、ナラ、ハリギリ、シナノキ、オヒョウ、ニレ、イタヤ、カンバ等が豊かな針広混交林を呈している。樹帯の下草には、クマザサが繁茂し、混地帯ではイタドリ、エゾニュウ、ヤチブキ、水芭蕉等が植生している。

#### (3) 動物

真狩村に生息する動物として、ほ乳類は、キツネ、タヌキ、ノウサギ、エゾリス、モモンガ、イタチ、クロテン、トガリネズミ等が確認されている。は虫類は、シマヘビ、アオダイショウ、カラスヘビ、カナヘビ等が確認されている。両生類は、アマガエル、アカガエルが確認されている。鳥類は、カッコウ、ヤマバト、キジバト、アカゲラ、ヤマゲラ、クマゲラ、エゾヤマドリ、ヒヨドリ、クロツグミ等が確認されている。

## 第4章 一般計画

### 第1節 事業計画の要旨

#### 1. 要旨

本地区は、古くからゆり根を取り入れた輪作体系で特色ある営農・生産を行ってきたが、近年では農業者の高齢化に伴う農家数の減少が顕著であり、担い手への農地集積と、それに伴う戸当たり経営規模の増加に向けた基盤整備水準の確保が求められている。多様な作物生産の持続と、経営規模拡大とともに大型化した農業機械による作業効率向上、生産コスト低減は、さらなる農家戸数の減少が起きた場合に向けて、非常に重要となる。これらのことから、適正な輪作の実施を可能とするほ場の均一化を進め、農作物生産性の向上やコスト削減、農作物の品質向上を目指し、農業収益の増加を図る。

#### 2. 事業別面積

(第8表)

事業目的	事業名	区画整理												計 (ha)	備考					
	土地利用区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	… (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	… (ha)	小計 (ha)							
区画整理			183.5				183.5												183.5	
計			183.5				183.5												183.5	

(第8表)

事業目的	事業名													計 (ha)	備考					
	土地利用区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	… (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	… (ha)	小計 (ha)							
計																				

## 第2節 営農計画及び土地利用計画

### 1. 営農計画の概要

本地区は、未整備農地が点在しているほか、急傾斜や褶曲の地形であることや排水不良などから、効率的な機械作業に支障を来し、収益性の低下を招いている。

本事業により、これらを解消し基幹作物であるばれいしょ、てん菜、小麦、豆類等の畑作4品を主体に土地利用型農業を展開しつつ、既に定着しているだいこんやにんじんやゆり根等の高収益作物の安定生産による収益性の向上を図り、地域農業の将来を見据えた効率的で安定的な農業基盤の構築に取り組む。なかでも「真狩村ゆりね生産組合」が設立されたゆり根は、国内生産の98%を占め、生産量・品質ともに日本一を誇る。

また、土地利用型作物に高収益作物を組み合わせた特色ある営農・生産を維持するため、適正な輪作の実施に向けた基盤整備を進め、農作物の品質向上や低コスト生産の実現による農業収益の一層の増加を図る。

### 2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	現況		226.4					226.4	1.6	8.9		236.8	四捨五入の関係で計 が合わない
	計画		175.4					175.4	1.5	6.6		183.5	
	現況												
	計画												
	現況												
	計画												
	現況												
	計画												
	現況												
	計画												
	現況		226.4					226.4	1.6	8.9		236.8	四捨五入の関係で計 が合わない
	計画		175.4					175.4	1.5	6.6		183.5	



4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地 利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳(t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当 たり収量増加	
区 画 整 理	普 通 畑	水稻															
		春夏作	馬鈴薯	43.7	45.8	2.1	25.0	25.0	2936	3469	533	1,283.0	1,588.8	305.8		305.8	
			小麦	10.5	11.0	0.5	6.0	5.0	600	633	33	63.0	69.6	6.6		6.6	
			甜菜	17.5	18.4	0.9	10.0	10.0	7020	8320	1300	1,228.5	1,530.9	302.4		302.4	
			小豆	31.5	33.0	1.5	18.0	18.0	253	284	31	79.7	93.7	14.0		14.0	
			にんじん	35.0	36.7	1.7	20.0	20.0	5203	5547	344	1,821.1	2,035.7	214.6		214.6	
			やまのいも	10.5	11.0	0.5	6.0	7.0	2372	2710	338	249.1	298.1	49.0		49.0	
			青刈りとうもろこし	8.7	9.2	0.5	5.0	5.0	5448	6434	986	474.0	591.9	117.9		117.9	
			牧草	17.5	18.4	0.9	10.0	10.0	4640	4163	-477	812.0	766.0	-46.0		△ 46.0	
			小計	174.9	183.5	8.6	100.0	100.0				6,010.4	6,974.7	964.3	0.0	964.3	
			174.9	183.5	8.6						6,010.4	6,974.7	964.3	0.0	964.3		